

JPEAソーラーウィーク大賞 講演会

「地域共生型ソーラーシェアリングを通じた社会課題への挑戦」



2025/3/5

たまエンパワー株式会社

株式会社さがみこファーム 山川勇一郎

事業主体



たまエンパワー株式会社

創業：2015年

本社：東京都多摩市

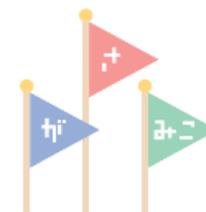
資本金：3000万円

代表者：山川勇一郎

事業：

- ・太陽光発電事業（屋根・営農型）
- ・O&M事業
- ・コンサルティング事業

※本プロジェクトの発電の事業主体



株式会社さがみこファーム

創業：2019年

本社：相模原市

資本金：2700万円

代表者：山川勇一郎

事業：

- ・観光農園事業
- ・生産・加工事業
- ・教育・研修事業

※たまエンパワーの関連会社

※本プロジェクトの営農の事業主体

コーポレートミッション：

「食とエネルギーを通じて自然と調和した地域の未来を創る」



『地域共生型ソーラーシェアリング』



- ▶ 地域内外が一体となった事業展開
- ▶ 農業・地域・エネルギーの課題解決を目指す

パネル下部では大つぶブルーベリー! 体験型農園「さがみこベリーガーデン」の運営





授粉用に養蜂も
昨年は大豊作!!



たまごファーム
SAGAMICO FARM Inc.

相模原市 (72万人・政令指定都市)



さがみこ
ベリーガーデン

▶ 橋本駅から30分。“都市に近い田舎”

相模原市緑区青野原前戸地区



©SAGAMICOFARM

- ▶ 地域唯一の小中学校は1学年生徒数**わずか7人**。
- ▶ 津久井地域でソーラーシェアリングの検討を開始(2019年)

約6年前



▶ 耕作放棄地をソーラーシェアリングで再生する

社会課題に対する私たちのアプローチ

獣害

狭い農地

3K

農業で食っていけない

そもそも
地域に
仕事ない

子に農業は継がせない

仕事ない

皆困ってるが、
ヨソモノに農地
を貸したくない

地域の若者流出

移住者定着しない

荒廃農地
の拡大

過疎化・高齢
化が進行

地域の衰退

地方は水・食・エネルギーの生産地

地方の問題 = 都市の問題
= 日本全体の課題

ソーラーシェアリン
グで売電収益の
確保

未来志向の栽培
方法で生産性を
向上

地域の自然資源
を活用して人を呼
び込む(=観光)

体験教育による付
加価値と地域人材
育成 (=教育)

様々なステークホルダーを呼び込み、
関係人口を増やし、地域に賑わいを創出

地域に新たな仕
事を作る
(= 未来の希望)

水・食・エネルギー
などインフラ維持
(= 公益的事業)

・農業を本気でやる

➤ 農業単体でも自立する事業

➤ 地域に希望のある事業を創る



子ども～大人まで楽しみながら学べる体験農園 『さがみこベリーガーデン』2023.6 OPEN!



年間2,000人超の来園



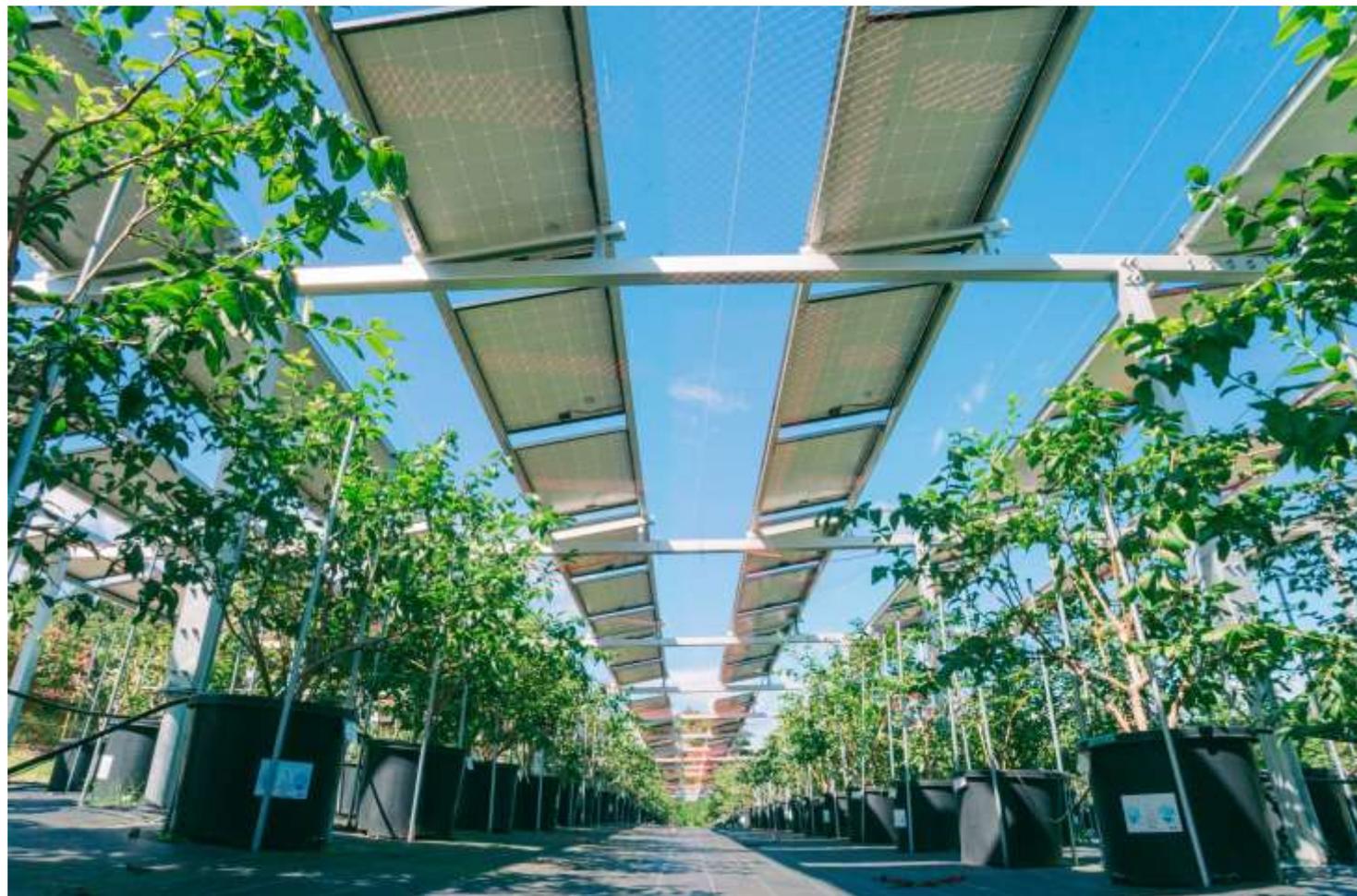
なぜ、“ブルーベリー”だったのか？



- ① 日陰でも育つ
- ② 気候が合っている
- ③ 病虫害に強い
- ④ 立地環境(キャンプ場多い)
- ⑤ 高単価
- ⑥ 摘み取り導入で高収益

▶ 農業経営視点・シナジーを生みだせそう

【コンセプト①】食とエネルギーの地域生産



- ▶ 発電容量312kW（FIT, Non-FIT全量売電）
- ▶ 新規発電所準備が進行中（Non-FIT, CPPA, 2MW）

【コンセプト②】未来志向の栽培方法



- ▶ポット養液栽培：早期収穫・高品質・安定生産・省力化
- ▶素人でも参入が可能な半工業的な農業生産



【コンセプト③】多様な雇用の創出



©SAGAMICOFARM

地域のママさんが子連れで仕事



©SAGAMICOFARM

農業志望の学生(高3)のインターン

障がい者

(就労B型事業
所との連携)

地域住民

(おばちゃん収穫隊
ママさん選別隊)

中・高
大学生

(ボランティア、
インターン)

シニア

(大企業OBが主力
として活躍中)

- ・地域に雇用を生むことが、地域社会の維持につながる
(常勤1名、収穫隊7名、選別隊4名、シニア1名、B型事業者3社)



【コンセプト④】 6次化へのチャレンジ



- ▶ 体験（観光）農園化
- ▶ ブルーベリー等の商品・加工品の開発
（B型就労支援事業所との連携）

「楽しみながらまなぶ」体験型農園



- ▶ 耕作放棄地 = 獣害 = 社会課題の最前線
= SDGsの生きた教材に
- ▶ 小・中・高・大学生、企業研修のフィールドに
(年間30～50団体が視察・研修に来訪)

「会員制」による固定ファンの確保



きっかけ：“太陽光パネル下へ不特定多数の人が立入”に対する代案
+ 地域住民との摩擦の軽減、顧客満足度向上、定期的な収入

▶ 個人会員：約400名、法人会員：11社



【地域共生】

「地元自治会と非常時の電源供給協定」



- ・台風19号「停電したら不安」▶自治会との協議スタート
- ・自治会所有のポータブル電源に自立運転から充電
- ▶あくまで住民ニーズが起点（押し付けない・媚びない）



【地域共生】地域の小中学校との連携



- ・校長先生からの依頼→小中学校の職場体験・探究授業の受入
- ▶ 援農、中学生主体の体験プログラム、商品開発、etc...
- ▶ 中学生が自ら行動することで、主体性を育む
- ▶ 「何も無い」から「捨てたもんじゃない」と思える地域に。



【地域連携】ツーリズム振興



- ▶ 「SMAK共創型地域振興協議会」の発足
熱意のある若手事業者で、面的な観光を推進
(特産品の開発、拠点整備、脱炭素ツーリズム実証・・・etc)



たまごころ

INC.

抵抗勢力は誰なのか？



【地方自治体】

【地主・農家】



【さがみこファーム】



【地場企業】



【地域住民】



【地域団体】

- ▶ 地域には固有の歴史・文化・生活がある
- ▶ 外部の改革者は真っ先に「異物」として認識される
- ▶ 「自分たちが抵抗勢力」という自覚をもって地域に入る



近所の おじさん (癖強め)



『さがみこファームが地域に来てよかった。』と、
言ってもらえる存在に。



▶よその者の自覚。当たり前前のことを、当たり前前にする。



夏の猛暑が“追い風”に



- ・周辺のベテランブルーベリー農家が軒並み生育不良
- ・SBGのブルーベリーはパネルの日影と養液で問題なし
- ▶ **農業サイドからの評価が向上**



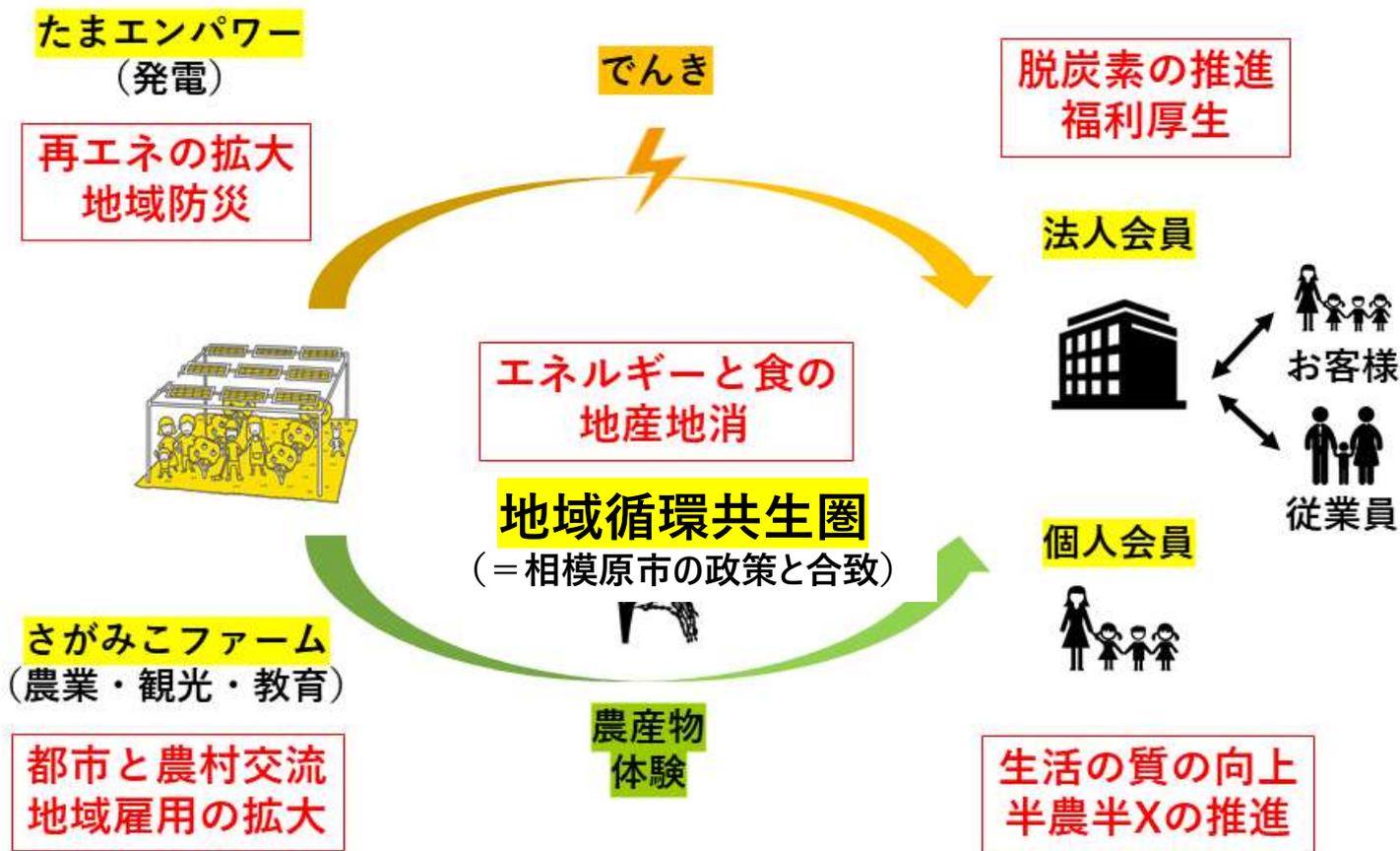
信頼を一定以上重ねると現実が変わりだす



- ・資源エネルギー庁 地域共生型再エネ事業顕彰 (2022)
- ・相模原市 さがみはらSDGsアワード市長賞 (2023)
- ・多摩信用金庫 多摩ブルーグリーン賞 (2023)
- ・JPEA ソーラーウィーク大賞優秀賞 (2023)
- ・神奈川県 かながわ脱炭素大賞 (2024) ほか



地域外の企業を巻き込んだ地域循環の創出



©SAGAMICOFARM

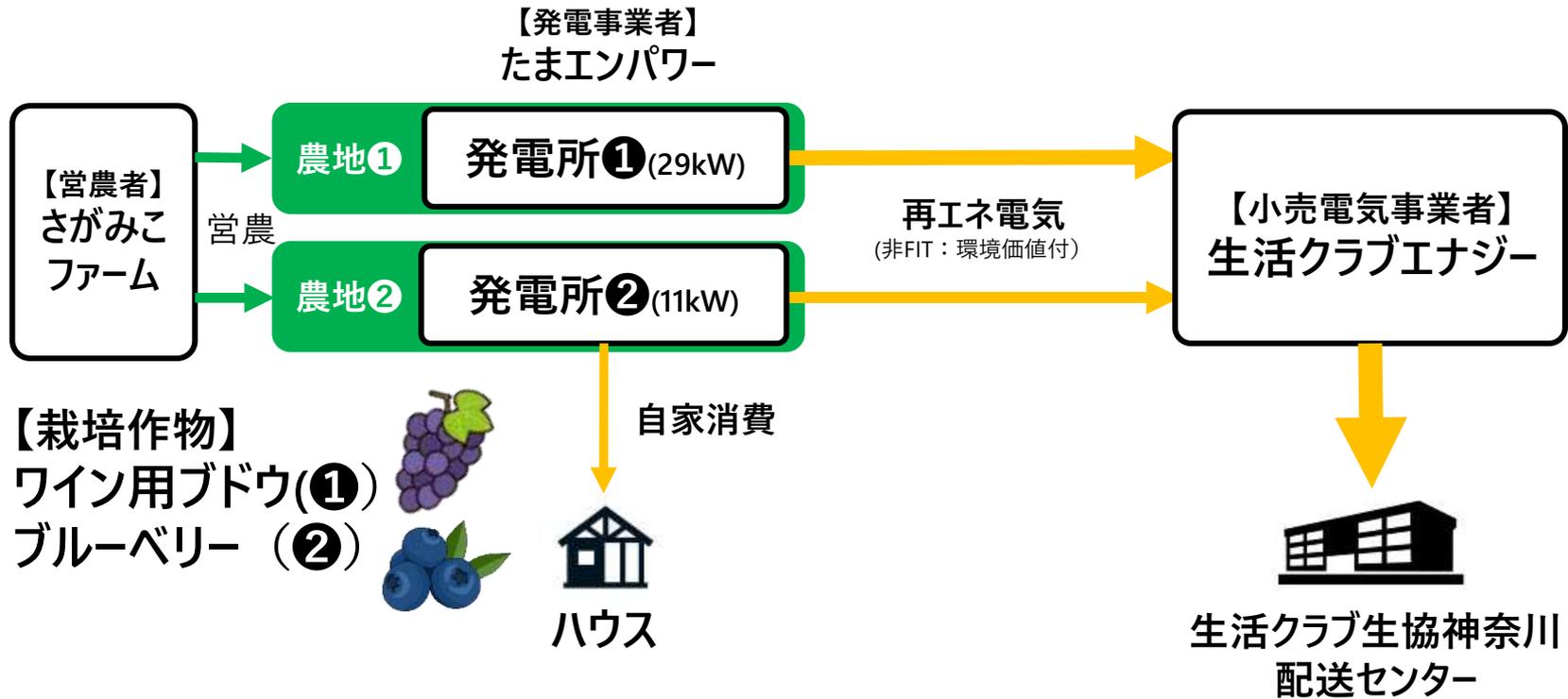
・地域だけだとなかなか課題解決は困難

➤ 電気の販売に留まらない「電気を軸にした地域づくり」

➤ 「コーポレート会員」制度を創設（＝現在11社）



コーポレート会員(生活クラブ)とのパイロットプロジェクト



- コーポレートPPAに関する連携協定を締結
(生活クラブ神奈川、さがみ生活クラブ、さがみこファーム、たまエンパワー)
- **Non-FIT・ソーラーシェアリング・コーポレートPPA**
(2024.2.20運転開始)
- ファンづくりのため、組合員に小口寄付を実施(1,100名)



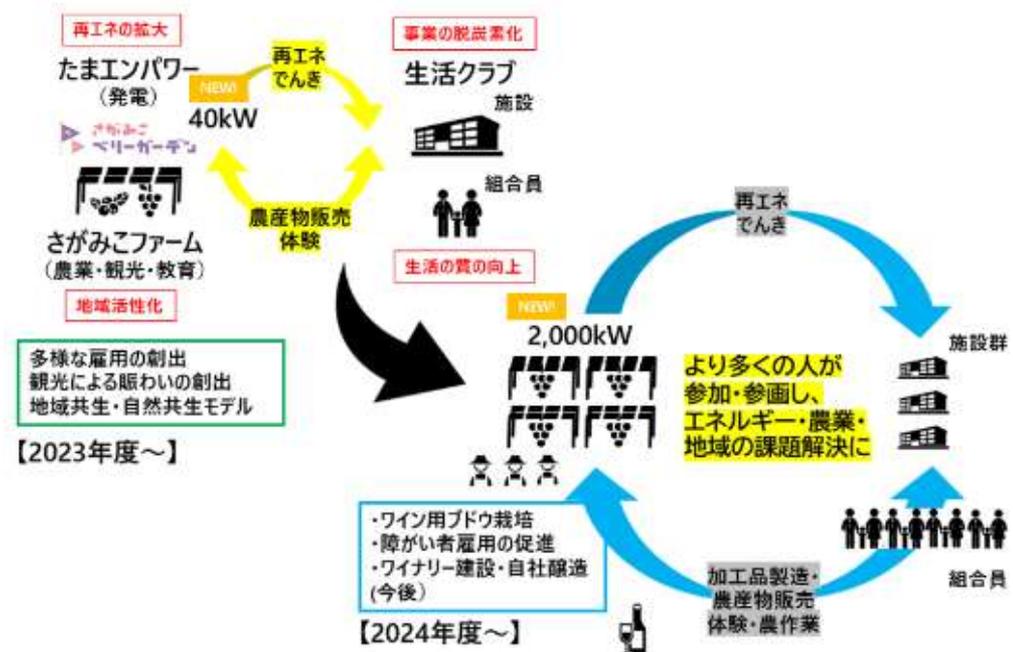
現在進行中のプロジェクト

- ・パイロット事業を足掛かりに、次に**2MWクラスのオフサイトPPA計画**を進行中（＝共同で発電SPCを設立）
- ・生活クラブ神奈川・東京の施設群および組合員に送電
- ▶ 神奈川・東京の**全施設の約30%**をソーラーシェアリングの電気で賄う
- ▶ 「生活クラブでんき」の契約者の電気の再エネ割合の増大

・パネル下では、ワイン用ブドウをはじめ、生食ブドウ、イチジク、レモンなどを栽培する。さがみこファームが営農を担う。

・より多くの人々が参加・参画し、地域内外が一体となって、地域活性化と地域課題解決を目指す。

▶ まずは今春第1弾を実施



ソーラーシェアリングで

「食とエネルギーのテーマパークをつくる」

2025
春竣工



食とエネルギーの
生産拠点

多様な人が集う
交流拠点

挑戦したい人の
教育拠点

- ・ブルーベリー農園の隣に約300kWのNon-FITソーラーシェアリングを建設
- ・ブドウ・イチジク・レモンの栽培をスタート。体験農園の魅力UP
- ・地域連携によって地域の課題解決と活性化を



「食とエネルギーのテーマパーク」のファンづくり



ソーシャルグッドな
クラウドファンディング

キーワードでさがす



はじめる さがす For Goodとは? ログイン

FOR 放棄地再生 & 地方創生

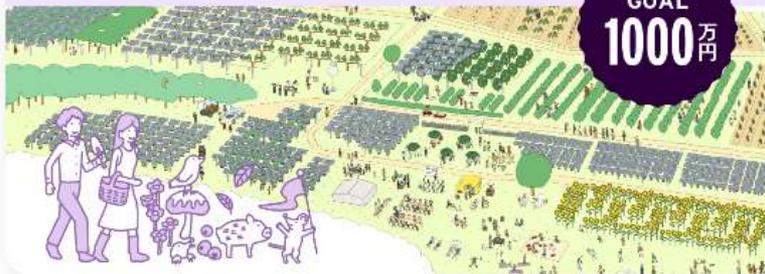
「食とエネルギーのテーマパーク」を、ソーラーシェアリングでつくりたい

たまエンパワー/さがみこファーム

「食とエネルギーのテーマパーク」を
ソーラーシェアリングでつくりたい

SAGAMICO FARM inc.

3rd
GOAL
1000
万円



現在の支援総額

¥7,006,000

目標
¥3,000,000

233%

支援者

351人

残り

終了

プロジェクトは終了しました

いいね 90

多くの人の共感を集める→ソーラーシェアリングに対する期待
= 我々事業者には**大きな社会的責任**がある

